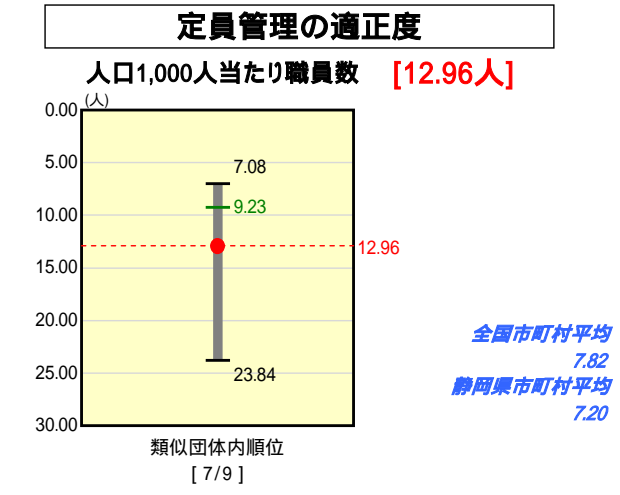
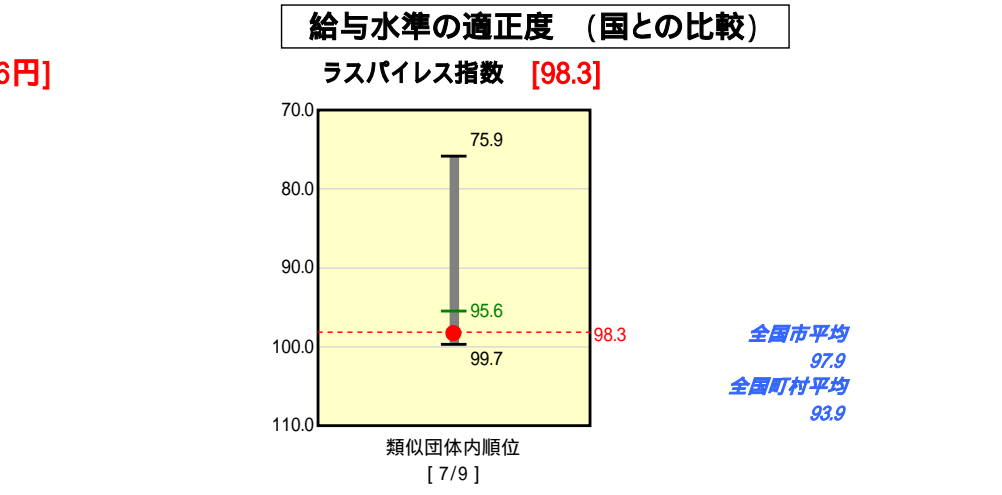
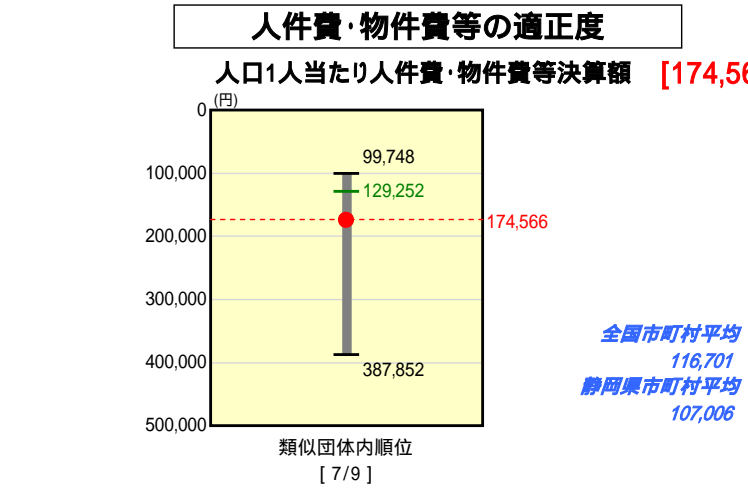
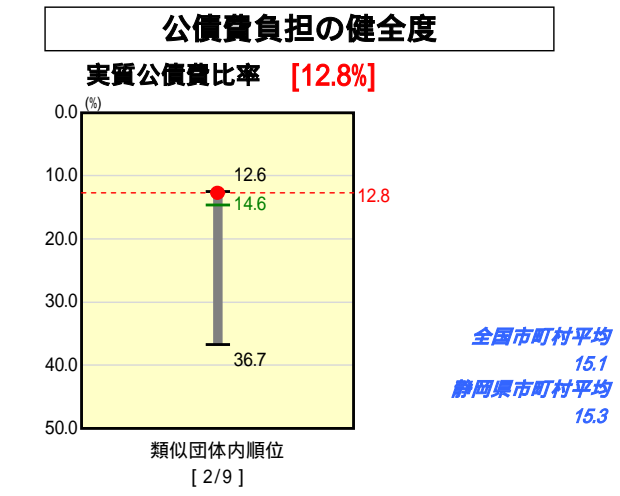
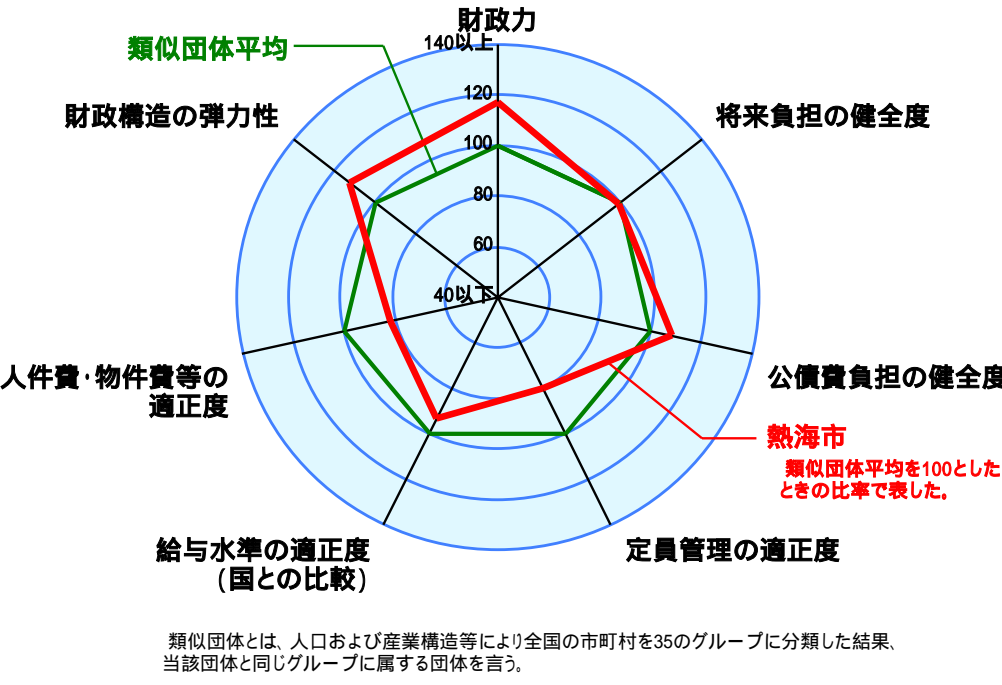
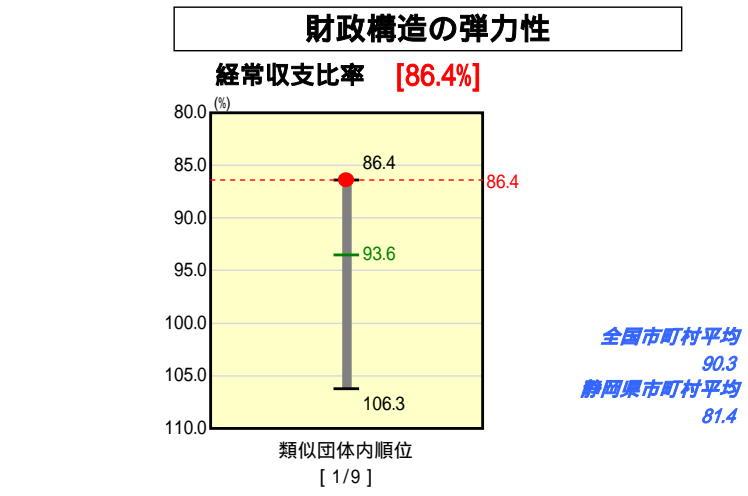
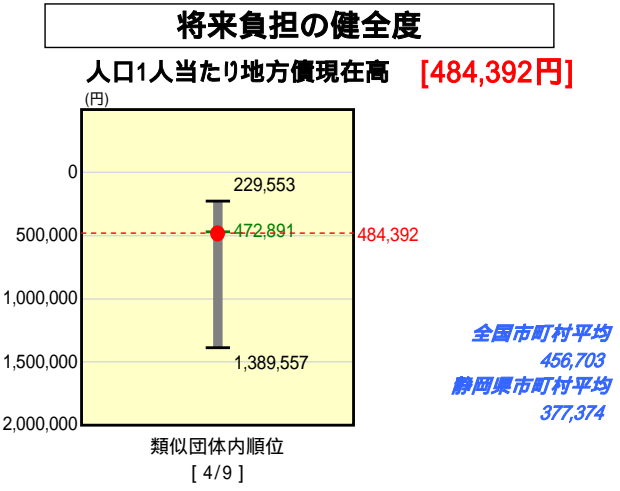
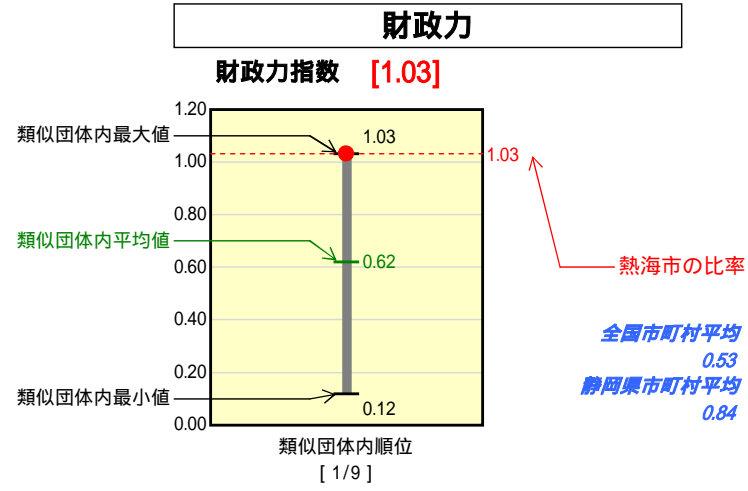


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 静岡県 熱海市

人口	41,508人	(H19.3.31現在)
面積	61.56	km <sup>2</sup>
歳入総額	19,451,693	千円
歳出総額	18,755,773	千円
実質収支	628,687	千円



**分析欄**

【財政力指数】 類似都市平均を上回ってはいるが、地価下落に伴う固定資産税収入の落込みから、近年低下傾向にある。税の収納率向上を図るため徴税担当者の研修、大口滞納者に対する処分規定の制定、インターネット公売の導入等により着実に効果があがってきている。今後は納税の利便性の面も検討をすすめ、さらに収納率の向上に努めていく。

【経常収支比率】 類似都市の中においては良い結果であるが、県平均は下回っている。国・県の平均を大幅に上回る高い高齢化率(33.8% H19.3月末現在、県平均21.1% #)と県内で最も高い生活保護率(16.02% H19.3月末現在、県平均4.5% #)により、扶助費等の義務的経費が年々増加している。今年度作成した行財政改革プランに沿って、人件費の削減等の経常経費の削減に努めていく。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】 観光地特有の行政需要に対応するため、流入人口も視野に入れた行政運営を行ってきた結果、当該指標が全ての平均以下の数値を示している。今後は従来の集中改革プランを上回る、今年度作成した行財政改革プランにより、さらに加速度をつけた行政改革を進めていくことで数値の健全化を図る。

【ラスパイレス指数】 当該数値は類似都市平均値(95.6)・全国市平均値(97.9)を上回る98.3となっているが、すでに各種手当については国の基準に準拠しないものは廃止又は廃止を条例化しており、平成19年1月に旧来からの給与体系を見直して新たな給与体系を導入し給与の適正化を図っている。今後も行財政改革プランに基づく職員給与のカットを実施し、より一層の適正化を目指す。

【人口1,000人当たり職員数】 主に観光交流客数を想定した人員配置を行ってきた結果、全国平均、県内平均を上回る数値を示している。今年度作成した行財政改革プランにより、従来の集中改革プランの定員管理・適正化計画の職員数の見直し及び年度計画の前倒しを行い、平成23年度末までに118人の削減を目標としている。

【実質公債費比率】 類似団体平均値、全国平均値を下回っているが、平成7年度以降の新清掃工場建設事業や学校校舎改築事業及び大規模建設事業に係る起債の償還により、今後も公債費は増加傾向にある。これに歯止めを掛けるため行財政改革プランに基づき、減少傾向にある歳入に連動して投資的事業の縮減を図ることにより起債の新規発行を抑制し、将来の数値の上昇を抑える。

【人口1人当たり地方債現在高】 全国・県内・類似都市平均を上回っているが、平成13年度をピークに地方債現在高は減少してきており、前述のとおり新規発行債の抑制を行い、既に発行している市債の元金償還を着実に履行していくことで、地方債現在高の減少に努めていくと共に、財政の健全化を図る。